

議員提出第48号議案

男女共同参画の概念を元に、社会全体が性のあり方の多様性を受け入れるための環境整備を求める意見書提出の件

男女共同参画の概念を元に、社会全体が性のあり方の多様性を受け入れるための環境整備を求める意見書を別紙のとおり提出する。

令和5年3月22日提出

提出者 神戸市会議員

安達和彦	守屋隆司	坊やすなが
村野誠一	坊池正	平井真千子
山口由美	河南ただかず	しらくに高太郎
山下てんせい	五島大亮	植中雅子
岡田ゆうじ	吉田健吾	上畠寛弘
平野達司	岡村正之	大野陽平
吉田謙治	大澤和士	北川道夫
壬生潤	藤本浩二	沖久正留
菅野吉記	軒原順子	堂下豊史
高瀬勝也	徳山敏子	門田まゆみ
大井としひろ	高橋としえ	住本かずのり
外海開三	三木しんじろう	黒田武志
山本のりかず	ながさわ淳一	さとうまちこ
辻康裕	川口まさる	松本のり子
森本真	大かわら鈴子	山本じゅんじ
西ただす	味口としゆき	今井まさこ
林まさひと	朝倉えつ子	池田りんたろう
よこはた和幸	伊藤めぐみ	たなびき剛
やのこうじ	かじ幸夫	あわはら富夫
浦上忠文	小林るみ子	高橋ひでのり
香川真二	前島浩一	諫山大介
川内清尚	上原みなみ	村上立真

理 由

男女共同参画の概念を元に、社会全体が性のあり方の多様性を受け入れるための環境整備を国に要望する必要があるため。

令和 年 月 日

衆議院議長
参議院議長
内閣総理大臣
総務大臣
法務大臣
財務大臣
文部科学大臣
厚生労働大臣
経済産業大臣
内閣官房長官

各宛て

神戸市会議長 安井俊彦

男女共同参画の概念を元に、社会全体が性のあり方の多様性を
受け入れるための環境整備を求める意見書（案）

我が国においては、憲法に個人の尊重と法の下での平等がうたわれており、男女が互いにその人権を尊重しつつ責任を分かち合い、性別に関わりなくその個性と能力を十分に発揮することができる男女共同参画社会の実現は極めて重要です。

また、昨年6月に閣議決定された「経済財政運営と改革の基本方針2022」では、新しい資本主義に向けた改革のひとつとして「包摂社会の実現」が掲げられており、老若男女、障害の有無を問わず、全ての人が生きがいを感じられる多様性のある社会が求められています。

そういった中で、現在も性的指向や性自認等を理由として偏見や差別に苦しんでいる国民がいることも事実であり、それらに対する正しい理解の促進が重要です。

一方で、その問題は特定の人々のみに対する配慮が必要な課題として捉えるのではなく、全ての国民が生きていく上での権利の尊重に根ざした課題として捉えるべきものです。

そのような状況の中、現在国では、L G B T理解増進法の制定が検討されていますが、検討に当たっては、その内容について、男女共同参画の概念を元に、全ての国民の生きる権利の尊重に根ざした課題として捉え、社会全体が性のあり方の多様性を受け入れられることを目指すものとし、法的枠組みだけでなく様々な環境整備についても早急に行うよう強く要望します。

以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出します。